



VIDES NEWS



Padre Ángel Fernández Artime アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父
El Rector Mayor de los Salesianos 第11代サレジオ会総長

ようこそ日本へ

Bienvenido a Japón!

2018

第11代 サレジオ会総長
アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父来日!
2018年11月11日





VIDES KOREA 訪問

ユースのメンバー4人とシスター2人の計6人
この期間、VIDES KOREAでは韓国全土か
ソウルに集まり、キャンプを行います。この「アプ
なグループです。今回はそのキャンプに参加さ

で、11月23日から25日までVIDES KOREAを訪問してきました。
らすべての支部(ソウル、水原、大邱、昌原、釜山、光州、済州)の「アプ
ローチャー」とは大学生や社会人などの若いメンバーが集まる、「ユース」と同じよう
せていただくことができました。

今回のキャンプを通してのテーマは「応答せよ
VIDES~十二使徒を集め歩まれたイエス様~」で
あり、自らがVIDESメンバーとなった理由や、
VIDESとしての活動を続けていられる理由など、た
くさんのメンバーと語り合い、共感しました。
キャンプの中心はVIDES KOREAのメンバーが
用意して下さったプログラムによってすすめ
られました。ただテーマに沿って話し合うだけ
なく、体を動かして一体感を深めたり、一つの
ものを作ったりと飽きさせないプログラム作り
になっていました。

1日目のレク「私たちを覚えて」は6つのグル
ープに分かれ、VIDESに入ったきっかけとVIDES
を続けられるモチベーションについて、それぞれ
絵を描き説明しました。

2日目のレク「一緒に選択して」では、準備さ
れた価値リストの中から、自分が生きていく上
で大切にしたい「価値」はどれかを考えまし
た。

また「ここで一緒に」では、6つのグル
ープに分かれ、ソウル観光を行いました。

各グループに宮・市場・キリスト教に関係する
場所の3か所がチェックポイントとして用意さ
れており、1コースを選んだグループは徳寿宮・南
大門市場・明洞聖堂の3か所を回りました。夕
食後の分かれ合いでは3~4人のグループに分
かれ、それぞれ静かにVIDESとして行ってき
たこと、今やっていること、VIDESとしての
将来、の3つの観点から話し合いました。

今回のVIDES KOREAへの訪問がVIDES JAPAN
として初めて(世界大会を除く)の他国のVIDES
メンバーとの交流でした。主に韓国語で進む
プログラムだったため苦労したことも多くな
りますが、VIDESの今までとこれからを考
える、とても有意義な経験ができました。



以下、2泊3日の交流を振り返っての各メン
バーの感想です。

高塚 絵美子

韓国のVIDESの方とお会いしてまず驚いた
ことは、学生の人数が多く、暖かく迎えて
くれたことです。翻訳アプリを使って一生懸
命韓国のメンバーと交流し、韓国人の友達
もできました。韓国での食事では毎日キム
チが出てきてとても美味しかったこと、グ
ループでのソウルツアーの際にマッコリや
ビールを飲むことができたことが楽しく、
印象に残っています。日本から持って行
ったお土産のファイル、おせんべい、飴も
喜んでくれて嬉しかったです。

丹野 早紀子

まず、私達をあたたかく受け入れ、親切
に対応して下さった韓国のVIDESの方達
に感謝しています。ありがとうございました。
VIDES KOREAの、男女問わず皆が仲の
良いところは羨ましく、若者中心でVIDES
を引っ張っている姿にはとても刺激を受け
ました。これから先、日本と韓国のVIDES
がもっと深く関わっていき、お互いに刺
激しあいがいいグループになっていけたら
良いです。

藤村 弥生

3日間がこれほど短く感じられた経験は
今までにありませんでした。多様なバック
グラウンドを持つ

た才能ある仲間たちとアクティビティを通
して充実した時間を過ごすことができ、確
実に実りの多い、自らの糧となった経験と
なりました。日本と韓国、互いに違いは
たくさんありますが、VIDESのメン
バーであるという共通点1つだけで、こ
んなにも素敵な時間を共有できることを
嬉しく思います。今後は韓国だけでなく
国際的なボランティアグループとして、
様々な国とかわっていきたくです。

浅沼 桃音

まず、こんなにも暖かく私達を迎えて
下さって、素敵なプログラムを準備して
下さったVIDES KOREAの皆さんに感
謝しています。私が特に感動したことは、
VIDES KOREAのみなさんは人数が
多く、住んでいる場所も遠いのに、みな
が仲良く、家族のようだったことです。
本当に、充実した価値のある滞在とな
りました。多くのことをVIDES KOREA
の皆さんから吸収して、私たちの活動に
繋がりたいです



Sr.宮澤

はじめて韓国のVIDESの皆さんとお
会いしましたが、若いメンバーがVIDES
会員としての誇りを持ち、生き生きと喜
びをもって活動されていることを目の当
たりにし、とても心が動かされました。
韓国の各地から集まってきたメンバー
が、普段はそれぞれの地域で活動して
いても、同じ精神で働くメンバーが集
まると話の内容も深く、共にVIDESとし
て生きる絆が感じられました。今回参
加した日本の私たちの若者たちにも私
は心動かされています。彼女たちが心
動かされ、燃えており、これからの日
本のユースやジュニアを盛り上げて
いきたいと意気込み、また真剣にど
うしたらいいのかと考えている姿に感
動しています。韓国のみならず、心
こもった温かなおもてなしもあり
ありがとうございました。またこれか
らも交流を深めたいです。カムサハム
ニダ!

Sr.牧山

KoreaとJapanでは、VIDESの“生
い立ち”に違いは

あっても、同じ精神を持ち、同じよう
に人生のある時点での人や活動との
出会いからVIDESに入り、仲間や
同伴者達、そして、ボランティア先
の子ども達と共に常に新たなチャ
レンジをし、「自分の人生の方向付
け、意味づけ」の歩みをしていま
す。韓国の皆さんとの交流は、つ
い内向きになってしまいがちな日
々の活動に、意味深さと広がり
を与えてくれました。素晴らしい
機会に恵まれたことに感謝!

今回私たちにこのような機会を
与えて下さったことに感謝して
います。また、VIDES KOREA
の皆さんが私たちのことを考
え、手助けして下さったおかげ
で、本当に楽しく、有意義に過
すことができました。VIDES
KOREAの皆さん、本当にあ
りがとうございました。今回の
交流で得たこと、考えたことを
忘れずに、これからのVIDES
の発展につなげていきたいと思
います。

韓国から帰ってきてからも、VIDES
KOREAの方々が日本に遊びに
来てくださるなど、交流を続
けています。ユースの数名と鎌
倉に出かけたり、ハッピーハウ
スを見学しに来て下さった方
もいました。また、今年の夏
のユースの練成会にもVIDES
KOREAの方々をお呼びする予
定で、毎月のユース会の際に
有志で韓国語の勉強をして
います。今回の縁を大切に、さ
らにつながり深めていく予
定です。





Padre Ángel Fernández Artime アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父
El Rector Mayor de los Salesianos 第11代 東京区長

Bienvenido a Japón!

ようこそ日本へ

サレジオ会総長アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父様来日 「サレジオ家族の集い」に参加!

2018年11月11日

フェルナンデス総長様は、ドン・ボスコの第9代後目の後継者。ドン・ボスコ自身が創立した3つのグループ、すなわち、サレジオ会、サレジアン・シスターズ、サレジャーニ・コーペラトリーノのメンバーにとってはもちろんのこと、それぞれの立場や使命を分かち合う中で広がっていったすべてのサレジオ家族にとって、総長様の来日は、ドン・ボスコの来日のような喜びの日々でした。

総長様は、11月7日から6日間にわたってサレジオ会が活動している日本各地を訪問し、様々なグループと出会われました。10日夕方、調布サレジオ神学院で行われた「SYMの集い☆スペシャル～総長と若者の集い～」には、日本中から130名を超える若者が参集。そこには、VIDESジュニア数名が参加し、身近に総長様とお話するという感動的で貴重な体験をしました!



共に新しい地平を拓いていくための 意義深い出会い

VIDES JAPANにとっては、日本で初めて「サレジオ家族の集い」に参加するという歴史的瞬間の集いになりました。1994年創設以来、星美学園関連の集いに参加することはありましたが、どちらかと言うと地道に独自のボランティア活動を展開してきたので、サレジオ家族のメンバーとしての認知度はあまりなかったかもしれません。今、約25年の歳月を経てしっかり土台が築かれ、次の世代に引き継いでいく時代(とき)が来たのを感じています。



奇しくも、サレジアン・シスターズの本部レベルでも、VIDESが「青少年司牧」分野に正式に位置づけられました。教育分野の中で主流の学校教育や教会での司牧の他にも、卒業後の継続的な養成、また、公的な組織や枠組みの中に居場所を見出せない現代の青少年の教育に私達が開いていくために、VIDESが展開している種々のボランティア活動は、意義あるものだということが明白になったのです。

総長様の来日は、私達自身がこのようなVIDES JAPANのアイデンティティを意識化するよう、そしてまた、同じルーツを持ったサレジオ家族にも存在をもっと知ってもらい、共に手を携えて、より“貧しい”青少年のために自分の力や時間など目に見えない財産・見える財産等を分かち合って生きていく新たな地平を拓くよう好機を与えてくださいました。



11日には、「サレジオ家族の集い」が星美学園(東京都北区)で開催され、約400名が参加しました。その中で、各グループの活動紹介が行われました。総長様は、VIDES世界大会にも出席され、世界各地で活動を展開し成長しているVIDESについての理解があるので、私達の発表にも興味深く目と耳を傾けてくださいました。(日本語で発表でしたので…)



VIDES

秋のスマイルフェスタ

2018年10月28日(日) in BIVIO

10/28(日)に赤羽駅西口にある商業施設BIVIOの七福神広場にて、スマイルフェスタが開催されました!今年で3年目となったフェスタは、赤羽の地域活性化のために様々な団体が集まり、にぎやかな催しとなりました。今年は無事、晴天に恵まれ、小さいお子様から、お年寄りまで、幅広い年齢層の方々に楽しんでもらえました。

VIDESからはサクソ演奏、ダンス、ヴァイオリン演奏のステージをご用意しました。



アンサンブルサクソレンさんによるサクソ演奏。
ハロウィンの仮装で子どもたちの好きなアンパンマンやおかあさんといっしょなどの曲を演奏して頂きました。
子どもたちも大喜びです!



武内良太郎さんによるヴァイオリン演奏。
演奏曲を当てるクイズ形式のステージで盛り上がりました。
最後にはアンコールも!



星美学園の高校1年生2人によるK-POPダンスと
タップダンス。観客はくぎ付けでした。



他には北区を拠点に活動するいろむすびcafeさんによる
ハイハイレースや、ユニクロさんと子どもたちによる
初めてのコーディネイト体験ステージ、
仮装コンテストが行われました。



大浦友さんによるダンスステージ。
即興で踊ったり、子どもたちをステージ上に呼んで、
簡単なダンスと一緒に踊ったりしました。
子どもたちは真剣に真似をしながらニコニコ楽しんでいました。

最後にはきちんと
VIDESの宣伝もしてきましたよ!
ユースは絶賛メンバー募集中です!

今年のフェスタも盛況のうちに無事に終わりました。

お手伝いいただいた方々、
本当にありがとうございました!
活動の場を広げられるよう、
ユースはこれからも頑張っていきます!

カンボジアスタディツアーに参加して



2018年3月12日~19日

動物病院勤務 小川 奈緒

私は、人と関わることがあまり得意ではなく、今回の参加にあたって暫く悩みました。しかし日本で保護猫ボランティアをしている為ボランティア活動に対しての意欲はあり、様々な経験を積んでもっと成長したいと思い、思い切って参加させて頂きました。

私は動物看護師の仕事をしているので、身近に犬や猫などの動物がたくさんいるカンボジアの子供達にも動物の命の大切さを知ってもらいたいと思い、



村の小学校では「動物病院について」と「よく飼われているペットの種類」についての教科書を作って持って行き、解説をしながら皆に好きな動物の絵を描いてもらう授業をしました

みんな真剣に話を聞いて楽しそうに話をしながら絵を描いてくれました。数ヶ月前から考えて作った教科書も皆が喜んでくれ、嬉しかったです。

カンボジアへ行って感じたことは、貧しいと言われていてもそこに暮らしている人達の心は豊かだということ、幸せの形は、お金で買えるようなものではなく人それぞれ違うということです。日本語学校の子供たちからも元気ももらい、人と関わることも楽しいなと思えました。また皆に会いに行きたいです。

新しい社会を見て 高橋優花

私はカンボジアのスタディツアーに参加して、ボランティア活動は、それぞれのニーズに対応した成果をあげることを目指す活動であるということを感じました。

事前研修の時、私はポー村小学校で何を教えればよいのか、思いつきませんでした。稲川シスターや奈緒ちゃんのアドバイスを受けて、生け花の授業をすると決めました。

今回私が生け花を紹介すると、身の回りにある草木を使って飾るという視点を示すことができます。これは、新たな仕事の一つを紹介することと同じなのだと思います。

実際にポー村小学校を訪れ生け花を実演すると、生徒が興味深く見てくれたことがとてもうれしかったです。この経験から私は、教育というものに対するとらえ方が少し変わりました。教育には、世界の、社会の様々な側面を知るという側面があります。その基礎にある「当たり前」のことも、教育なしには当たり前にならないのです。「外から帰ってきたら手を洗



う」、小さい時に教えられ、そうしてきました。私は幼いころからいろいろなことを教えられ、体験をしてきたのだと感じました。

この研修に参加する以前は、カンボジアについて地理や歴史の側面だけしか知りませんでした。ましてや現地の人の生活まで想像することはありませんでした。しかしこれまでVIDESが行ってきた活動を見ると目標ははっきりとしています。VIDESの一員として、私に何ができるのか考えることとなりました。前に挙げたボランティアへの違和感を解消していきました。現地で求められている活動でなければ、それは「自己満足」でしかないということです。

この研修で今までとは少し違う側面から社会を見ることができました。そして自分で思っている以上に、誰かの助けになることができるのだと気付きました。これからもできる範囲で、ボランティア活動を続けていきたいと思いました。

2019年3月12日~19日

加藤萌子

私はボランティアに行く前、言葉が通じない国で子供達と仲良くできるのか正直そんな不安がありました。しかし実際に子供達を前にしてみたらそんな不安は余計なものでした。

カンボジアの子達は、会うと必ず笑顔で挨拶をしてくれ、ハイタッチやハグをしてくれて、そんな純粋な子達ばかりでした。そんな素直な子達との関わり、そして共にカンボジアへ行った3人の友人とシスター達の関わりの中で気付かされた事、学んだ事が沢山あります。その一つは自分から心を開く事の大切さです。その行為は相手との仲を深める素晴らしい行為です。なので、私は相手から何かを求めるのではなく、私から積極的にしていく

「心を開いていく」ということをこれから意識して行動したいと思っています。一生忘れたくないそんな素晴らしい体験でした。



須田美優希

私は今回初めて参加し、切り紙を教えました。そこで私が驚いたのは、子供たちの潜在能力の高さです。やったことがなくても少し教えるとその先は自ら考え、様々な形を作り上げていく姿を見て、こんなにも素晴らしい才能や感性を教育の不足によって摘み取ってはならないと強く感じました。

私が大好きなのは、目が合った子供に「おいで」と手招きをするとパッと笑顔になるその瞬間です。

その瞬間は非常にシンプルに「この笑顔のために生きていきたい」と思いました。切り紙を教えただけの私に、子供達は一番大切なことを教えてくれたのです。

私は将来看護師として途上国で働きたいと考えており、春から大学の看護学科に進みます。ここでの貴重な体験をスタートとすることができて本当に良かったです。この研修を支えてくれたすべての方に心から感謝しています。



豊田晏澄

カンボジアでわたしは沢山の可能性をみた。運動が得意な子、発想力のある子、ダンスが上手い子、勉強を頑張りたい子、沢山の可能性が詰まっていた。私は豊かな日本に生まれ、沢山の教育を受けてきた。教育者としての技術はない。ただ、受けてきた教育がある。私たちが彼らにできることは可能性を終わらせないことだと感じた。また、彼らは私たちにいつも真っ直ぐな笑顔を向けてくれた。彼らの笑顔にはきっと辛いことも苦しいことも沢山ある。それでも私達を喜んで迎え入れ、沢山の笑顔と愛を注いでくれる。とても心が豊かなのだと感じた。本当の豊かさとは、幸せとはなんだろうか。お金も大事である。でもそれ以上に大事なことがここには沢山あった。日本に帰ってきた今、自分に何ができるか考えたい。

寝食共にして語り合った全ての人との出会いと沢山の学びに心から感謝する。



大久保結衣

私は今回のカンボジアスタディツアーで物凄くカルチャーショックを受けました。今でもなお、裸足歩き回っている子供たちの多さや虫歯あることが普通の子供たちの姿を見て、私にとっての当たり前とはなんだろうと考えさせられました。

苦しい中でも一生懸命学ぼうとしてる子供たちの目がとてもキラキラしていてその姿がとっても愛おしくて、もっと沢山のことを教えてあげたいと思いました。きっと、彼女たちの今の生活は彼女たちにとっては当たり前のことになりつつあります。だが、その生活は当たり前ではないし、当たり前にはさせてはいけません。

今回のスタディツアーで彼女たちの笑顔や生活を目の当たりにしたこと、今の私にできることはなんだろう、と沢山考えさせられました。また、今こんなにも恵まれた環境で生活できていることに沢山のの人に感謝を伝えたいと思えるきっかけになりました。このスタディツアーはボランティア活動として行かせて頂きましたが、私の方が子供たちから沢山のことを教えてもらった気がします。



2018 VIDESクリスマス会

2018.12.16



11月から少しずつ準備を始めたクリスマス会。去年から引き継ぐ企画や新しい企画を部員と出し合い、徐々に内容を決めていきました。各担当でクリスマス会までに買い出しや装飾づくり、司会・ハンドベルの練習など、やることをリストにまとめ、協力して作業を進めていきました。なかなか部員の予定が合わず、作業を思う通りに進めるのが大変でしたが、クリスマス会の準備を通して、できる人が率先して喜んで作業をするというボランティアの精神の重要さを感じることができました。

当日は、主にVIDES会員の方が来てくださり、想像以上に喜んでくださり、嬉しかったです。特にクリスマスクイズは大盛況でした。グループ対決でした



が、これが思った以上の盛り上がりで、また来年も参加者が一緒に楽しめる企画を用意できたらと思いました。また、ビンゴ大会は人数より景品が多かったのも、たくさんのクリスマスプレゼントをお渡しすることができました。ビンゴ大会では、「ビンゴ!」と叫びながら、プレゼントを取りに来る子どもたちの嬉しそうな笑顔が、クリスマス会の雰囲気喜びで包んでくれました。



武内良太郎さんの素敵なバイオリン演奏もクリスマス会を盛り上げてくれました。

今回はジュニアメンバーが作ったクッキー、バーチ・ディ・ダーマの他に、レストランのメンバーにも美味しい物を沢山作っていただき、とても充実したラインナップが実現しました。その他の場面でもVIDESクリスマス会に沢山のご協力をいただき、この場をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。また、来年も是非よろしく願いいたします。(永田 真実)



ハッピーハウスの活動

毎週 火、木曜日 17時～20時

小学生の子どもたちと一緒に遊び、勉強、ごはんを共にします。
子どもたちや親が楽しく安心していただける居場所作りを心がけています。
シスター2人と主に大学生のスタッフが活躍しています!

林 真理恵

私はハッピーハウスが発足した時から大学3年生の今までスタッフとして活動しています。はじめの頃は手探り状態でしたが、じっくり時間をかけて子どもたちと接していき、共に過ごすことで信頼関係を築き、みんながハッピーになれる居場所になっているのではないかと感じます。

週に一度ハッピーハウスに行くとおかえりなさいと必ず誰かが迎えてくれるのがもう1つの家族のように感じられます。また、子どもたちのためだけではなく私たちスタッフの居場所でもあると強く感じています。

母校である星美を卒業してもスタッフの先輩、後輩、同期に会えたり、シスターに相談に乗ってもらったりと、現在は就職活動で落ち込むこともあり逆に子どもたちから元気もらっています!

大迫 心

一昨年の夏から、VIDESの会員として主にハッピーハウスで活動させて頂いています。まだ一年半しか経っていませんが、周りも、そして自分自身も大きく変わりました。

当時誰かの役に立ちたいと思っていたところで、

ちょうどシスターにお声をかけて頂き、「よし、やるぞ!」という意気込みで始めたのは良いものの、料理はできないし、慣れたスタッフに遅れをとって、自分がここにいる意味はあるのだろうか?と迷った時期もありました。

しかし唯一の男性スタッフだった私は、子供達が求めている兄のような立場でそれぞれに接し、そこにいっただけで役に立っているのだと気付きました。というのも、ここに来る子供たちは皆一人っ子や長男長女で、相談したり甘えたりする対象が欲しかったのです。肩車をしてあげられるようなスタッフは、他にいませんからね(笑)

子供たちの成長にも驚かされています。可愛いけれども、あんなに落ち着きがなくて自分勝手だった彼らが、協調性を身につけ他人に配慮できる、思いやりのある子供たちになってきました。子の成長に対して親が抱く、嬉しくもちょっぴり寂しいような気持ちも、分かる気がします。

満たされているのは子供達だけではありません。私たちスタッフも、子供たちを弟妹のように、そしてシスターたちをもう1人の母親のように思い、共に過ごす時間を心地よく感じています。今は子供達のためというよりも、むしろ自分の心の安定のために自らハッピーハウスに通っているような感じです。



赤羽×星美クリスマスフェスタへの参加

2018年12月23日に赤羽星美学園で初めてクリスマスフェスタが行われました。このクリスマスフェスタは、赤羽地域の方々と一緒に作り上げた企画で、学校関係者以外の多くの地域の方々と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

私たちVIDESは、クムパニスさんのパンとseiboのマラウイ産のコーヒーや紅茶を販売しました。放課後や星美彩でも販売させていただいているクムパニスさんでは、クリスマスということで数種類のパンに加えてドイツのクリスマスの伝統菓子であるシュトーレンも販売しました!

初めての企画だったので、集客を心配していましたが、どれも好評であつという間に売り切れてしまいました。当日は雨も降り、とても寒かったです。そこにいた全ての人たちの笑顔と優しさに包まれ温かい気持ちになりました。そして、これからも地域の人たちとの関わりを通して赤羽を盛り上げていきたいと思えます。(石橋 千佳)



今年も「愛のポシェット」を送りました!

— 目黒星美学園小学校の取り組み —



目黒星美小では、カンボジアの子ども達のために2005年から「愛のポシェット」(文房具や日用品を入れた手作りポシェット)を送っています。

2009年にBosco Sunday School(以下BSS)が開設されてからは、BSSと近郊の公立ポー村小学校支援として継続し、物資をVIDESボランティア活動の参加者が直接運ぶという連携プレーで、子ども達を通して保護者も一緒

に取り組む「ボランティア教育」を行っています。

現地の必要に応じて、ポシェットをショルダー式に変えたり、今年度からは衣類や靴、ぬいぐるみも集めたりしました。物資の分類作業は6年生が行います。今回は、活動の様子をカンボジアの友達に伝えたいと自主的に冊子も作成しました。その他、最も支援が必要なBSSの子ども達の学資支援として学期に1度の「カンボジアデー」を行い、おにぎり弁当にして献金を集めています。





Bosco Sunday School



លិខិតថ្លែងអំណរគុណ Thanksgiving Letter

យើងខ្ញុំជាគ្រូស្ម័គ្រចិត្តទាំងអស់នៅសាលាបង្រៀនថ្ងៃអាទិត្យបូស្កូ សូម ថ្លែងនូវអំណរគុណយ៉ាងជ្រាលជ្រៅចំពោះVIDES Japan ព្រមទាំងសប្បុរសជនទាំងអស់ដែលតែងតែផ្តល់ជំនួយជាសម្ភារសិក្សា និងថវិកាដល់សាលាយើងខ្ញុំ។ កុមារក្រីក្រកម្ពុជាមួយចំនួននៅតែត្រូវការ ការជម្រុញ លើកទឹកចិត្ត ដើម្បីឲ្យពួកគេមានឱកាសទៅសាលា និងមានទឹកថ្លែងដ៏សុវត្ថិភាពក្នុងការលេងសប្បាយ។ ដោយសារការជួយជ្រោមជ្រែងពីសប្បុរសជនទាំងអស់ ទើបអាចជួយពួកគេ ស្វែងរកនូវទេពកោសល្យពិតរបស់ពួកគេ។ យើងខ្ញុំសង្ឃឹមថាអ្នកទាំងអស់គ្នានឹងនៅតែគាំទ្រសកម្មភាពរបស់ពួកយើងបន្តទៀត។

សូមជូនពរអ្នកទាំងអស់គ្នាជួបតែសុខភាពល្អ ជោគជ័យ និងសុភមង្គលគ្រប់ប្រការ។

We are volunteer teachers of Bosco Sunday School would like to express the deepest thankfulness to VIDES Japan and all donors who supported study materials and funds to our school.

Some poor children in Cambodia still need encouraging, motivating to give them the opportunity to go to school and safe places to play. Due to your contributions could help them to find their real talent. So, we hope you all are still supporting our activities.

We would like to wish you all healthy, successful and happiness.

November 9, 2018 Bosco Sunday School



ថ្ងៃទី០៩ ខែវិច្ឆិកា ឆ្នាំ២០១៨
សាលាបង្រៀនថ្ងៃអាទិត្យបូស្កូ



Bosco Bakery School

លិខិតថ្លែងអំណរគុណ Thanksgiving Letter

រយៈពេលដប់ឆ្នាំហើយ ដែលយើងខ្ញុំនៅតែបន្តការទំនុកបម្រុងពីសប្បុរសជនទាំងអស់រហូតមកដល់សព្វថ្ងៃនេះ។ យើងខ្ញុំបានមានក្រុមគ្រួសារ មានកូន មានចៅ បូកដោយសុភមង្គល។ អរគុណយ៉ាង ជ្រាលជ្រៅអស់ពីដួងចិត្ត។



ថ្ងៃទី០៩ ខែវិច្ឆិកា ឆ្នាំ២០១៨ សាលាបង្រៀនធ្វើនំប៉័ងបូស្កូ កិន ភីរម្យ

こんにちは! 私たちのBosco Bakery School 10年間たちました。皆様日本からのご親切はけっして忘れません。皆様の援助はBBSスタッフたちのお金や道具などに使わせていただきました。皆様のご支援のおかげでBosco Bakery Schoolのスタッフは結婚することができ、幸せにしております。本当にありがとうございます。心から感謝いたします。

皆様のご健康をお祈りいたします。 2018年11月9日
ボスコパン学校ピン・ピロン



静岡 VIDES便り

私達静岡VIDESは、10名程の少人数で「ドンボスコ・サレジオファミリーの精神」の下、アットホームな雰囲気大切に活動しています。昨年度より、VIDESジュニアがサーバントリーダーへ改名すると共に、彼等の所属は修道会から静岡サレジオ学園へと移行しました。この事から、35名程の彼等は新たに部活動の一環として宗教科の谷口教頭と荒井先生のご指導の下、ボランティア活動を学び、様々な活動をしていきます。

静岡VIDESの年間活動をご紹介します。
先ず、6月の第3土曜日と日曜日に行われるサレジオ祭へ参加。幼稚園・小学生の男子向けにカブト虫と恐竜の「ペーパークラフト」を、女子は「万華鏡作り」と廃

材を利用した「一輪挿しの花瓶作り」を…
この部門の軸である紙バンドを使った「籠作り」は、子どもから大人まで大人気です。参加者はスタッフのアドバイスに頷きながらも、作品を仕上げ終えるまで言葉少なく夢中で作業をしているのが印象的でした。作品が出来上がると「これをお母さんへプレゼントするの」とにこやかに会釈をして帰る姿は満足している様子で、とても微笑ましく感じられました。

10月には、昨年から新規に始めた「赤羽星美彩見学ツアー」を本年度も行う予定です。



その節は、鈴木理事長、武石修道院長、脇村校長を始めとする多くのシスター方と東京VIDESの皆様大変御世話になりました。

当日早朝、杉田シスター、谷口教頭と4名の先生方、サーバントリーダー、フィリピン研修経験者と生徒会委員合わせて20名で出発。参加者は皆、其々に感じた物を感謝の気持ちを持って心の栄養とさせて頂きました。

また、12月に行われる静岡サレジオのクリスマス会で、「フィリピン就労支援への募金活動」をしました。

当日参加頂いたご父母の皆様と対話をし、VIDESの活動へのご理解を頂き、募金を頂いて折ります。毎年、僅かでは有りますが、日本静岡サレジオの心をフィリピンへ届けたいと、この先も続けて参ります。

私達静岡ビーデスは、「静岡サレジオへ通う生徒達を 教育の場を通して側面から応援したい」とする気持ちから在校生の父母が立ち上げました。

学園の環境の中で、学校の様々な行事に併せて活動をして来た歴史が有ります。ここ数年に於いて、学園側との協力体制は強固な物と成り、共に考え対話をする機会が増えた事から互いの信頼感も深まっていると感じます。今年は、姉妹の赤羽星美学園と更に親交を深め、静岡サレジオ学園の理解と協力を得ながら「青少年の健全なる育成を支える」この精神を大切に、会員一丸と成り活動して参ります。今後共、静岡VIDESとサーバントリーダーを宜しくお願い致します。

VIDES静岡 副会長 萩原 滋昭



2020年 カンボジアスタディツアー

2020年3月10日(火)~3月17日(火)8日間

派遣国 カンボジア
 派遣地 シムリアップ県 シムリアップ市 ポー村(BBS パン工房学校)
 派遣日程 2020年3月10日(火)~3月17日(木)全8日間
 派遣人数 6~8名
 派遣内容 カンボジアの子供達との文化交流・技術提供
 派遣宿泊 BICC(ボスコ国際文化センター)2F(ボスコハウス)
 参加費用 ¥200,000(世界遺産アンコールワット遺跡観光を含む)
 (旅費・宿泊費・食費(外食は個人持ち)、研修費、現地ガイド費、観光費等)
 参加条件 ボランティア意識、語学力(中学生英語程度)、協調性、健康
 ボランティア活動準備研修会参加(12月・1月・2月、毎月2回の研修開催)
 第一回研修会日程:2019年11月17日(日)14:00 VIDESセンター

活動日程予定計画 3月10日(火) 成田空港出発
 11日(水)~14日(土) ポー村小学校ボランティア
 15日(日) BSS(ボスコ日曜学校)ボランティア
 16日(月) アンコールワット・アンコールトム観光 夕方シェムルアップ空港へ
 17日(火) 成田空港到着

参加ご希望の方は2019年11月17日(日)までに、Email:videsjp@gmail.com
 またはTEL.FAX.03-3906-0070(VIDES事務局)にご連絡ください。

VIDES JAPAN 14 活動内容

海外ボランティア

アジアの子供達との交流。
カンボジアの子供達と学生達に技術指導。



VIDES 学資援助

アジアの貧しい子供達の学資援助。
 ●カンボジア/ボスコ・サンデースクール(BSS)
小学生 ¥30,000(年間)支援。
 ●カンボジア/ボスコ・ペーカリスクール(BBS)
専門学生 ¥60,000(年間)支援。

リストランテ VIDES

VIDESの紹介と活動資金調達
 ●毎月1回 第2水曜日(但し、7・8・9月除く)
年間9回、本カーサマイン食堂にて
イタリアンパスタのレストランを運営
 ●調理、デリバリー、会場準備
 設置、洗い場、片付け



フレンドシップ

児童養護施設「星美ホーム」の子供とのス
キップ。2~5才児との遊び。
第2日曜日、子供と一緒に遠足。随時。

MAC LOVE

パソコン(Mac)を使って事務処理援助。
VIDESセンターにて事務局事務処理援助。
インターネットによる広報活動。

フリーマーケット

アジアの貧しい子供達への援助。
年間5~6回、赤羽公園、教会バザーにて実
施。物品仕分け・整理、運搬、販売。随時。



ランチショップ

アジアの貧しい子供達への援助。
第1・3・4木曜日、午前9時30分から。
各種お弁当をアルマ・マーテル(修学院)にて
調理、短大にて販売。

VIDES マイン

各種事情時の宿泊、生活スペースの提供ボ
ランティア。
自立を目指す青年達の体験学習支援活動。

VIDES 山中サレジオ山荘

富士山の麓、山中湖山麓に建つVIDES山
中サレジオ山荘。
4~10月オープン。毎年1月1日受付開始。
自然の中で人間性と人生観を深める様々な
体験の場を提供。
EX)黙想会、コーラスグループ合宿、イタリア
料理講習会。

海外物資援助

アジアの貧しい子供達に衣類、学用品、
その他物資援助。



VIDES 祈りの会

毎月1回、VIDESの活動を祈りによって支え、
世界平和と人々の幸福を願って祈る会。
修学院聖堂にて実施。

VIDES カルチャー

個人の隠れた才能の開発促進援助と文化
交流提供。
AZ「工芸教室」、
HA「ハンス・アンジェラ」~祈りと共にソーイ
ング!
売上で活動資金調達。講師も随時募集。

VIDES ショップ

青少年の心身の育成のため、2010年4月よ
り星美学園内で軽食と語らひの場を提供。

